



第35回定期総会方針を具体化し、2026 県退職者連合活動を進めよう!!

2026年度 第1回幹事会を開催



冒頭あいさつに立った伏見会長より、本幹事会及び関連会議論議の意義と課題、衆院選厳しい結果の受け止め等が提起され、そして12月に逝去された「佐藤将文幹事(鉄道退職者の会水戸地連いわき支部)」に対する哀悼の意が表されました。

幹事会において論議いただきました議題(主なものは以下の通りです。

- ① 第51回衆議院議員選挙について
- ② 政策制度要請(25年度総括及び26年度課題)
- ③ 役員推薦委員会(27~28年度役員)設置
- ④ 地域・地区運動発展に向けて
- ⑤ ジェンダー平等活動の取り組み
- ⑥ 第32回県高齢者大集会の開催
- ⑦ 連合福島との連携及び組織拡大
- ⑧ 県退連情報発信(教宣)強化
- ⑨ 具体的年間諸日程確認
- ⑩ 26年度最低賃金署名運動の展開

26年度福島県最低賃金引上げ署名活動に、ご理解ご協力を!!

学習会を中心にジェンダー平等運動を進めよう!!

《ジェンダー平等委員会》

これまで3回積み上げ

てきた学習会を継続し、6月10日(水)13:00~開催。その上で「※アンコンシャスバイアス」等にも理解を広げていくことなどが論議されました。

※社会環境や過去の経験からの固定概念が、思考や判断に無意識のうちに影響を与えている。



交流をもとに地域運動を強化しよう!!

会津地域退連結成の上で、総会方針に基づきはじめて「地域・地

ました。それぞれの地域活動が報告され、教訓を学びあい、課題を共有し、有意義な交流機会でした。

地域政策制度要請運動の展望など県退連提起も含め、地域の活動推進の一步前進が期待されます。

ひとこと【全国事務局長会議(2/12)・政策制度実現院内集会(/13)に参加して】

衆院選の結果直後の全国集会、退職者連合推薦候補が全国的に大打撃を受ける中で雰囲気も重く、それぞれの全国発言を聞いても暗さを感じずにはいられませんでした。そんな中であって自分を見つめなおしてくれる二つの言葉を紹介します。

一つは良識です。SNSによって大きく国民世論が歪められる中「日本人の心はどうなってしまったのか?」でも投票日午前「#ママこれから戦争止めてくるわ」が一時トレンド1位となったそうです。

二つに院内集会閉会あいさつでした。『永六輔は60年安保に敗れ打ちひしがれる帰り道に「上を向いて歩こう」を作詞し、当時の暗い世相に前を向く大ヒットとなりました。厳しい情勢を受け止め、退職者連合もせめて上を向いて歩きましょう!!』と集会を締めました。その後日本退職者連合野田会長より「高齢者としては(転倒防止)下も向いて歩こう」といいながら団結三唱を突き上げました。